

発行:創造的教育グループ WAYシンガポール校

WAY では、すべてのコースで最終的に生徒達に〈役に立ついい道具〉を与えることを考えて授業をしています。

「たとえば、犬小屋を造ろうとするときに、中華鍋と中華包丁があっても造れない。逆に、釘と金槌があっても中華料理は作れない。このように何かを達成するためにはそれに適した道具が必要だ。これは人間知性についても当てはまる。

低いレベルの知識がなければ、それによってできることは限られる。文化系の知識は豊富にあっても、理科系の知識が著しく欠けていれば、物事を考えるアプローチの選択肢が限定される。その逆も同じことだ。知識という道具の質と量で人間ができること、認識できることに大きな差が生じる。だから「いい道具」を持つための教育は必要だ。」(佐藤優・伊藤賀一 2024)

今年、多くの G12 の生徒たちが、TOEFL スコアが60点台から100点以上を超えて行った理由は、「役に立ついい道具」を手にしたからです。生徒達はこの引用した言葉を実感できたと思っています。

英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークンな英語のまま放置されています。それは、まるで液状化した土地に建物を建てていることに似ています。WAY では、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTS の教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTS の読解を通して、TOEFL の点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上(今年は 45 の生徒が出ました)が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110 点以上を目指しています。

Academic Writing クラス

このクラスは英語のエッセイ、入試や編入で必要となる出願書類(志望動機書など)の指導に焦点を合わせたライティングの書き方を教えています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用(IB レベル)までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成員を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。)論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が不可欠だと私たちは考えています。